

平成29年度第1回北杜市図書館協議会会議録

- (1) 会議名：平成29年度第1回北杜市図書館協議会
- (2) 開催日時：平成29年5月22日（月）午後1時30分～午後3時48分
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者：協議会委員 柴山 裕子／手塚 正子／堀内 直美／須田 由美子
中山 洋美／金子 朋子／小澤 志保子
事務局 坂本図書館長／深澤 寛美・小野 まどか・相吉 悠（総務担当）／小澤 香奈（明野図書館）／鈴木 規（すたま森の図書館）／大平 真衣（たかね図書館）／社 洋子（ながさか図書館）／高野 裕子（金田一春彦記念図書館）／細田 恵子（小淵沢図書館）／浅川 さつき（ライブラリーはくしゅう）／斉木紀恵子（むかわ図書館）
- (5) 議題：
 - (1) 平成29年度事業計画と予算について
 - (2) 子ども読書の杜プランの進捗状況について
 - (3) その他

報告：
 - (1) 雑誌スポンサー制度について
 - (2) 金田一春彦記念図書館屋根防水改修工事について
 - (3) 各図書館からの近況報告について
 - (4) その他
- (6) 公開・非公開の別：公開
- (7) 該当なし
- (8) 傍聴人の数：3人
- (9) 審議内容
委嘱状交付の後、役員選出が行われ、会長に柴山委員、副会長に須田委員が決定した。

議 題

- 1) 平成29年度事業計画と予算について
 - *事務局より29年度事業計画について説明。
 - ・全体事業としては、昨年度までに引き続き「ブックスタート事業」、「セカンドブック事業」、「やまね便り」「土曜ことば楽」、「大人のための朗読会やまびこ」等を予定している。
 - ・今年度の事業として、「アーカイブ公開記念シンポジウム」を10月に、「第100回記

念大人のための朗読会やまびこ」を2月に実施予定である。

- ・そのほかに、第18回金田一春彦ことばの学校を9月、子ども図書館まつりを11月、利用者懇談会を12月、ボランティア研修会を2月にそれぞれ予定している。
- ・各館の事業については、4月の子ども読書週間、10月の読書週間を中心にイベントを予定している。各館では本の世界へのきっかけを作るために、地域委員会や教育センターなどの関係部署とも連携し、ボランティアの方々にも協力をいただきながら事業を進めていく予定である。

＊事務局より29年度予算について、説明。

- ・29年度の図書館予算の総額は、143,627千円。
- ・今年度より、事業予算の枠組みが変更になり、昨年度までの「図書館管理運営事業費」が、「図書館管理事業費」と「図書館運営事業費」に分割された。
- ・臨時職員の人件費が1,254千円増額されているのは、賃金が日額100円増額されたことによるものである。
- ・管理事業費の消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費は、前年度実績に基づき減額となっている。
- ・新規予算として、図書館利用カードの作成費、デジタルアーカイブ公開システム使用料などがある。
- ・昨年度設計を行った金田一春彦記念図書館の屋根防水改修工事を今年度施行する。
- ・新聞雑誌購入費169千円の減額、図書購入費277千円の減額となっている。このなかで効率的に資料の購入をしていきたい。
- ・H27年度から3年計画で行ってきたデジタルアーカイブ化事業は、今年度で終了する。

会 長：協議会の資料については、あらかじめ内容を精査し疑問点等を洗い出すため、
今後は事前に各委員に送付してもらいたい。

事務局：承知した。

委 員：臨時職員の賃金について、市の保育士は子育て支援の拡充や保育士の不足を背景にした人材確保のため、増額されたと聞く。図書館利用者の目で見ても、図書館職員の業務は専門性が高く職員の力量が問われるため、待遇を同等にできないか。

事務局：国から人員確保の指示があるため、また、近隣他市で北杜市より好待遇の職員募集があったことから人員の流出を防ぐため、保育士、放課後児童クラブ職員など子育て支援課の臨時職員を嘱託職員にしたことが、今年度格差が生じた原因である。また、今回臨時職員から嘱託職員になったものの中に、栄養士、調

理師が含まれており、同種同賃金の中で、学校教育課の給食関係職員に対しても同時に待遇改善が行われた。図書館は、複合施設として児童館などと一緒になっているところが多く、同一施設の中で勤務している職員の待遇が違うことに対して不満が出るのは当然のことである。また、図書館職員は、彼らがいて初めて図書館運営が成り立つという重責を担っている。こうしたことから、教育部長と教育長に実情を訴え、速やかな改善を申し出た。教育部長も早速動いてくれ、図書館以外の部署を含め教育委員会全体として、来年度の待遇改善に向け、総務課に対応を求めていくこととなった。

委員：臨時職員は契約が半年更新なので、仕事の継続性について考えれば、嘱託職員となり思い切り仕事ができる方がメリットが大きいので、是非待遇改善を図って欲しい。

委員：デジタルアーカイブ公開事業のランニングコストについては、当初想定しておらず、その費用を捻出するため光熱費、燃料費などを減額することにより、業務への影響がでることが懸念される。

事務局：燃料費、光熱費などは、あくまでも実績に基づき減じた金額を計上しているので、業務に影響がでることはないと考えます。

委員：新聞雑誌購入費及び図書購入費が毎年削減されているが、この部分は減額しないでいただきたい。他部署でも一律減額している、と毎回言われるが、図書館は図書があって初めて成り立つので、利用者からみても納得できないところである。雑誌に関しては、スポンサー制度を活用して回復させることは可能だが、図書に関しては、寄贈していただく努力はしても、図書館として購入することと寄贈とは意味合いが違う。

事務局：図書館協議会の中で強い要望をいただくことは、予算取りをする際に非常に強力な根拠になる。デジタルアーカイブのランニングコストについては、特別事業費として計上され、前年比5%減のシーリングの影響を受けないため、来年度予算の中で他の事業費を削る必要はない。雑誌、図書購入費については、図書館法などで十分な資料を確保するよう定められており、図書館協議会の強い要望もいただいていることから、出来るだけ図書費等については削減しないかたちで行けるよう努力する。

委員：新聞雑誌、図書購入費については、出来るだけ削減しないでほしい。また、光熱費、燃料費は実績で予算計上したとのことだが、照度や気温の面で利用者が利用しやすい環境、職員が仕事をしやすい環境を保つことも必要であるので配慮してもらいたい。

委員：ことばの学校の補助金が半減した理由はなにか。

事務局：今年度は、ことばの学校事業にアーカイブ事業を取り入れたかたちで実施するため、アーカイブ事業費が使えること、また、ことばの学校事業は、第 20 回を一区切りとすることから、半額とした。

2) 子ども読書の杜プランの進捗状況について

*事務局よりプランの進捗状況について説明

- ・児童館・放課後児童クラブ・つどいの広場では、昨年、長坂東放課後児童クラブと大泉東放課後児童クラブが増設され、つどいの広場「つくしんぼルーム」がなくなり施設数が 21 となった。読み聞かせやおはなし会を実施している施設数は 1 減となった。図書館の団体貸出を利用している施設は若干増え、図書館との共催によるイベントはわずかに減少している。
- ・保育園では、異年齢交流による読み聞かせを実施しているのは 2 施設のみで 26 年度から変わっていない。ボランティア・保護者による読み聞かせを行っている施設は 9 施設から 11 施設に増加している。図書館の団体貸出を利用しているのは昨年 5 施設から 11 施設に大幅に増加している。
- ・小中学校では、27 年度同様全ての学校が朝読を実施している。朝読の回数については昨年と変わらない。おはなし会やブックトークをすべての学校が実施するようになった。また、おはなし会の回数を増やした学校が見受けられる。家読の推進を行っている学校数については、1 校増加した。
- ・図書館においては、児童書の購入については、全体として減少しているが、27 年度は長坂で 40 万円の寄付があったため、子どもの読書活動に還元するため購入数が増えた。定例の読み聞かせについては、回数・参加人数ともに増加している。(昨年度カウントしなかった事業を新たに含めたため。)
- ・今後の課題について、小・中学校については、読書推進に力を注ぎ、ほとんどの学校が朝読やおはなし会などに取り組んでおり、保育園においても徐々におはなし会などの実施が増えてきているが、児童館などの児童施設においては読書推進が停滞気味である。
- ・保育園や児童館などの図書館の団体貸出制度の利用は、着実に増加しているが、今後も引き続き、団体貸出の制度の利用を促進しながら、読書推進をしていく必要がある。
- ・図書館において障がいをお持ちの子どもさんへの読書活動の支援ができていない。視覚障がい者向けの絵本の購入を進める必要がある。

委員：今年度予算の中に、深澤快策文庫の27万円は含まれているのか。含まれた予算額でなおかつ減額されているのか。

事務局：含まれている。今年度は金利減少の関係もあり、7万円減の20万円である。合併特例債の大幅な減額、金利の減少から、年間6～7億の交付税減額となる。また、自主財源としての税金を考えたときに、生産年齢の下降という実情があるため、非常に厳しい財政状況となっている。各部署が5%のシーリングを達成しないと市財政が回らないのが実情である。

委員：深澤快策文庫の予算は別建てではなく、市予算に含まれてしまうのか。

事務局：含まれる。今年度は小淵沢図書館の図書購入に充てられる。

会長：新任委員のために深澤快策文庫について説明をして欲しい。

事務局：明野町出身の深澤快策氏の遺産を相続人不在のため、北杜市が寄付していただいた。多額であるため、その金利部分を子どもの教育予算として図書購入費に充ててきた。深澤快策文庫と名付けて毎年1館ずつ順番に図書購入し、明野図書館、ライブラリーはくしゅうにおいては、購入した図書を専用のコーナーで展示している。今年度は小淵沢図書館で図書購入し、コーナーを設置する予定である。

委員：新任のため、ブックスタート事業についても説明をして欲しい。

事務局：起源は英国、日本へは国民読書年の際に導入された。絵本を使って父親母親と赤ちゃんとの触れ合いを推進する事業。北杜っこ元気課で実施する7か月検診の際に、検診会場で図書館職員と図書館ボランティアが、絵本を使ったふれあいの紹介、読書相談、おすすめの絵本8冊のうちからお好きな1冊をプレゼントするといった事業を実施している。2歳児検診の際にも、フォローアップ事業として、セカンドブック事業を実施し、読書相談、おすすめ本のリスト提供を行っている。また、お母さん方がお子さん連れでなかなか図書館に来づらいという話を伺う中で、昨年度より「本の杜への招待状」と銘打ち、2歳児検診の際に手作りの招待状をお渡しし、図書館でのお話会への参加を促進する事業を実施している。招待状を持参した子どもさんには、おすすめ本3冊のうちからお好きな1冊をプレゼントしている。

委員：「本の杜への招待状」事業が、北杜市子ども読書活動推進計画の進捗状況に記載がない。

事務局：現在の第二次推進計画を策定した時点では、この事業はなかったもので、進捗状況にも載ってこない。今年度策定する第三次推進計画には明記されるので、報告対象となる

委員：計画期間の途中で新規事業を行う場合は、読書計画推進委員会議を開催し、追

加報告する方向で検討をしてもらいたい。

委員：子どもの数が減少してきているので、お話し会への参加人数の推移も単純な比較は出来ないのではないかと。中身の検討までできるようにしてもらいたい。

3) その他

・第三次北杜市子ども読書活動推進計画策定委員の選定について

事務局：今年度、平成30年度から34年度までの第三次北杜市子ども読書活動推進計画を策定するにあたり、策定委員を選定する必要がある。要綱では16名以内とされており、前回の平成24年度は、学識経験者、図書館協議会会長、図書館ボランティア3名、子どもクラブ指導者連絡協議会会長、青少年育成北杜市民会議会長、PTA連合協議会会長、保育園保護者連合会会長、小学校長代表、中学校長代表、甲陵高校校長、小中学校図書館司書代表の13名で組織した。今回、他に加わっていただきたい役職があるか伺いたい。

委員：市内在住の絵本作家、ヤングアダルト作家の立場から意見をいただくのはどうか。実際に子どもに関わっている方に加わっていただくのが望ましい。また、児童館などでもっと読み聞かせを行っていくためには、児童館職員などを加えても良いのではないかと。

事務局：子どもに直接関わっている方に、加わってもらうのが良いと考える。

会長：ほかに意見がなければ、いま挙げた方たちを対象に選定を進めてもらいたい。

報告

1) 雑誌スポンサー制度について

*今年度から新規事業で行っている「北杜市図書館雑誌スポンサー制度」について報告。

- ・今日現在、1名の申込みがあった。
- ・市財政の厳しい折、図書・雑誌等購入も減額されていることから、少しでも図書資料数を回復することを目的に導入された制度である。広報、チラシ等で周知が始まっているが、引き続き制度についてPRしていきたい。
- ・各委員においても制度をPRしていただき、協力いただける方がいればぜひご紹介いただきたい。

会長：それぞれに、知人や懇意にしている店があれば、声掛けをしていただきたい。

2) 金田一春彦記念図書館屋根防水改修工事について

*数年前から雨漏りが発生しており、一昨年度に調査の実施、昨年度工事の設計を行い、今年度工事に着手する。施工業者は5月末の入札で決定し、工事期間は6月から11月中旬までの予定である。利用者への周知を事前に行う。工事期間中も開館するが、利用者並びに職員の安全確保を最優先にし、工事に伴う騒音についても利用者への影響を最小

限に抑えられるよう、業者とよく打ち合わせていく。

3) 各図書館の近況報告について

*各図書館で実施した事業、今後予定している事業について、各図書館出席者から資料をもとに説明。

委員：明野図書館で5月17日に実施された「世界の音楽とおはなし会」の参加者が50名とのことだが、開始時間は何時だったのか。

明野図書館：平日であったので小学生の下校時間に合わせて、午後3時30分から開始した。

委員：小学1年～3年生を対象の定例のおはなし会で、児童館に来ていて、いつもおはなし会に参加している児童を対象に行った。

委員：ながさか図書館でビブリオバトルを実施しているが、昨年北杜高校の生徒が素晴らしい成績を収めたのは、もともとはこの事業での結果によるものか。

ながさか図書館：本館で実施したビブリオバトルで彼の選書がチャンプ本になり、学校の先生の指導もあり、その後の大会で結果を出していった。私もその時のビブリオバトルに立ち会ったが、他の子どもたちが、自分の思いのたけを強く訴える傾向があるのに対し、彼は独特のアプローチで自分の言葉で語り、胸に迫るものがあったが、そういった部分が評価されたとのことである。この事業が、さまざまな意味できっかけになることができたので、今後も継続して実施していきたい。

委員：是非、継続していただきたい。学校図書館との連携を密にする中で、昨年の彼の優勝以降、多くの子どもや市民がビブリオバトルという言葉を知ることとなり、またチャンプ本『ハリネズミの願い』もかなり売れたのではないか。図書館の持つ影響力を強く再認識した。ビブリオバトルに限らず、学校図書館との連携を深めていってほしい。

委員：長坂町内と限定するのではなく、北杜市内を対象とした北杜市図書館としての事業にしてほしい。

事務局：現時点では、アーカイブデジタル化事業に時間を取られ、新しい事業に着手する余裕がないのが実状ではあるが、出来るだけ速やかに要望に応えられるようにしていきたい。

委員：すぐにというわけではない。大人の朗読会やまびこも、当初は高根図書館のみの事業であったが、発足3年目で北杜市図書館の事業へと変わっていった。ビブリオバトルは小中高生の読書推進にもつながるので、市全体に広げた方が良いと思われる事業は北杜市図書館の事業として取り上げてほしい。第三次子ども読書活動推進計画に含めることも検討してほしい。

4) その他

- ・北杜市図書館館内掲示物取扱基準について

＊今年度より基準を定めた北杜市図書館内における掲示物の取り扱いについて説明。

その他

1) 図書館巡りの日程について

昨年度の図書館協議会において、各図書館の視察を年度初めにするよう要望をいただいたため、6月・7月の日程で協議し、次の日程に決定した。

平成 29 年 7 月 4 日（火） 午後 1 時 金田一春彦記念図書館集合

2) 図書館協議会の会議資料について

本来は内容をゆっくり確認していただけるよう、事前にお届けするべきであった。次回からはあらかじめ郵送させていただく。

3) 第三次子ども読書活動推進計画策定委員について

各協議会委員からも、学校関係者、図書に詳しい方、我こそはという方、策定委員にふさわしい方など、推薦いただける方があれば、ご協力いただきたい。

以上